

Cisco ONS 15454 TCC、TCC+、または TCC2 カードへの PC の直接接続でのトラブルシューティング

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[解決コモン 接続に関する問題](#)

[直接アクティブTCC に接続される PC からの確立する リンクレベル接続](#)

[直接アクティブTCC に接続される PC からの確立する IP接続](#)

[Java ソフトウェアをインストールし、設定して下さい](#)

[CTCアプリケーションをダウンロードし、起動させて下さい](#)

[JREソフトウェアをインストールし、設定する場合のよくある問題](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、次の項目を試みる上で発生する一般的な問題について説明します。

- アクティブTCC に直接接続される PC からのリンクレベル接続を確立して下さい。
- アクティブTCC に直接接続される PC からの IP接続を確立して下さい。
- PC の Java TMソフトウェアをインストールし、設定して下さい。
- CTCソフトウェアをダウンロードし、起動させるのに TCC を使用して下さい。

注: この資料はインストレーションガイドではありません。詳しいインストールおよびセットアップ情報に関しては、Cisco ONS 15454 ユーザドキュメントの [Cisco Transport Controller](#) 章を[使用することを参照](#)して下さい。トラブルシューティング および リファレンス ガイド、またはスタンドアロントラブルシューティングガイドとしてユーザドキュメントと共にこの資料を使用して下さい。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、Cisco ONS 15454 に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

よくある接続に関する問題を解決して下さい

このセクションは[概要](#)セクションにリストされている各シナリオのよくある接続に関する問題をどのように解決できるか説明します。

直接アクティブTCCに接続されるPCからの確立するリンクレベル接続

Cisco ONS 15454 の初期セットアップに関しては、PC の Network Interface Cards (NIC) の RJ 45 ポートから ONS 15454 の TCC の RJ 45 ポートにストレート型 RJ 45 イーサネットケーブルを接続して下さい。ほとんどの 15454s にアクティブおよびスタンバイTCCがあります。ソフトウェアバージョン 2.0 およびそれ以降を使うと、どちらかにアクティブまたはスタンバイ TCC ケーブルを接続できます。

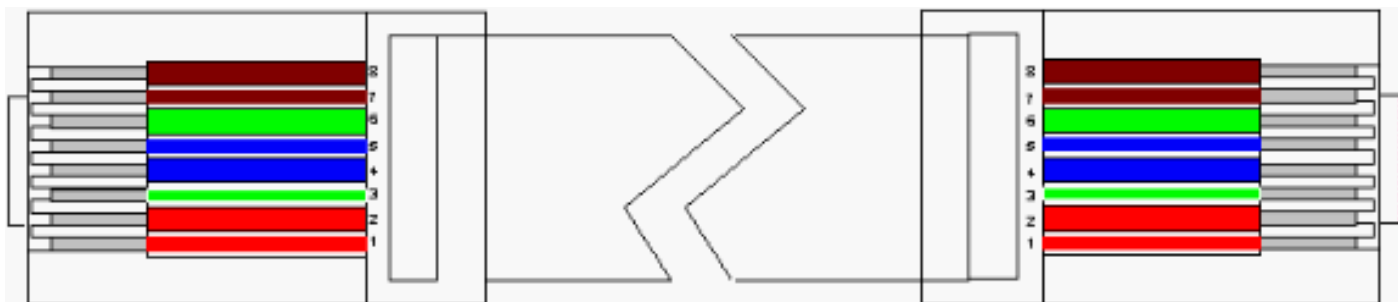
注: スロット 7 および SLOT 11 はアクティブおよびスタンバイTCCのために予約済みです。これら二つのスロットはバックプレーン LAN とともに hubbed、速度は 10 MB で固定、半二重です。

[表 1](#) で情報を [図 1](#) 適切なケーブルを使用するかどうか確かめるために使用すれば。

表 1 か。ピン配列図

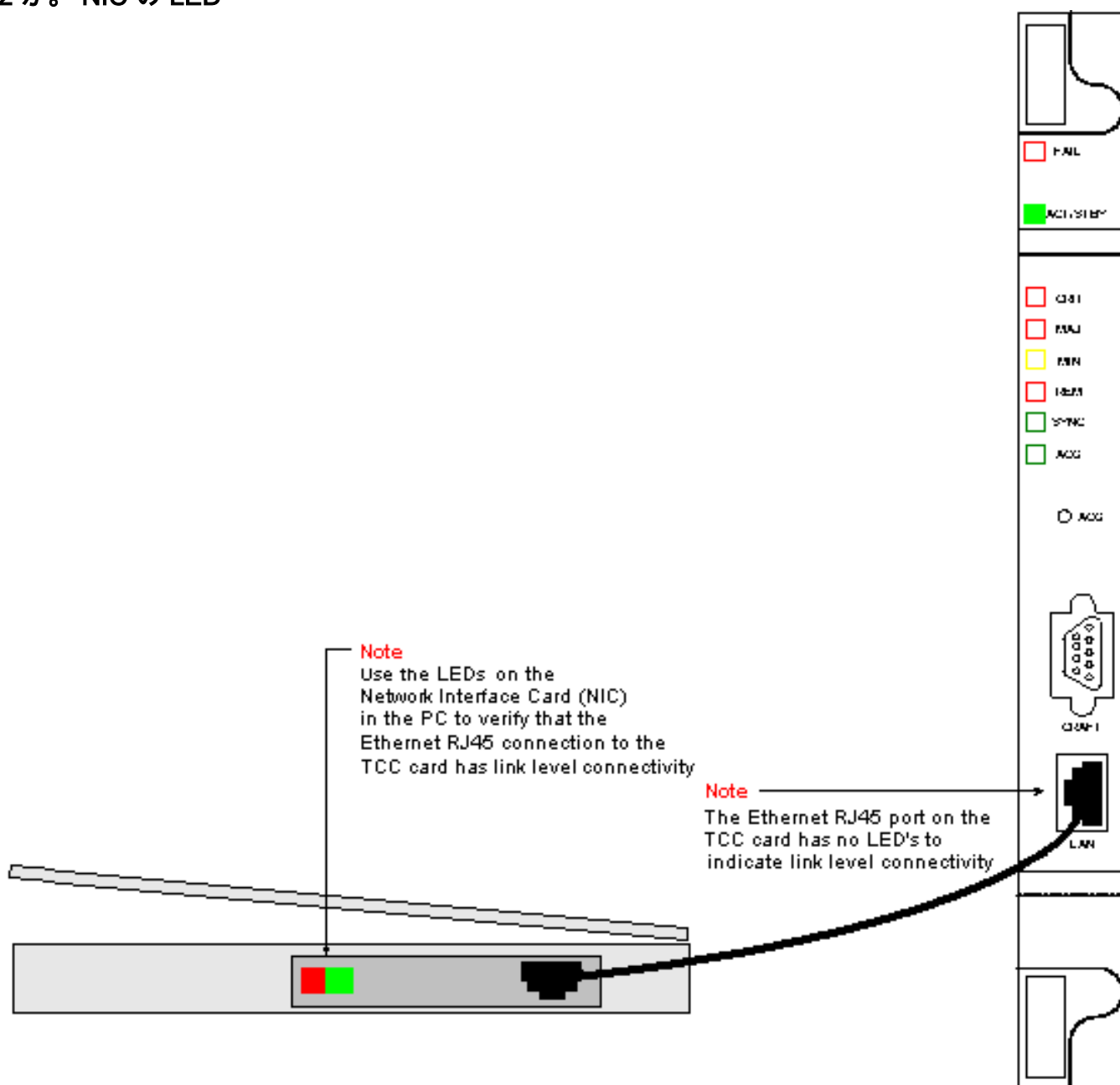
ピン留め	色	ペア	名前
1	白/オレンジ	2	TxData +
2	オレンジ	2	TxData -
3	白/グリーン	3	RecvData +
4	青	1	-
5	白/ブルー	1	-
6	グリーン	3	RecvData -
7	白/ブラウン	4	-
8	ブラウン	4	-

図 1 か。直流ケーブル RJ 45 ケーブルダイアグラム



注: TCC の RJ 45 ポートにリンクレベル接続を示す LED がありません。イーサネット接続のためのリンクレベル接続を確認するのに PC で NIC の LED を使用する必要があります。TCC にリンクレベル接続をうまく確立するとき、赤のLEDランプはつきます。トラフィックが渡り始めるとき緑 LED は点滅します。

図 2 か。NIC の LED



直接アクティブTCC に接続される PC からの確立する IP接続

新しい 15454 のシェルフだけ

ONS 15454 は TCCP のデフォルト ノードネームと提供された。デフォルトで、すべての ONS 15454s 192.1.0.2 のクラス C IP アドレスは割り当てられます。接続の成功に関しては、クラス C サブネット 192.1.0.x 内のユニークな IP アドレスで PC を設定して下さい。またクラス C IP アドレス 192.1.0.2 指すデフォルト ゲートウェイを使用して下さい (または直接接続したいと思う) 15454 の既存の IP アドレスを。

注: 既に使用中の可能性が高いシェルフに IP アドレスがありますデフォルト IP アドレスと異なっている。シェルフ LCD 表示のこのアドレスを見つけるためにシェルフで直接検知して下さい。LCD 表示が不完全である場合、ネットワーク管理者からの IP アドレスを得て下さい。PC のユニークな IP アドレスを設定して下さい。IP アドレスがシェルフ IP アドレスおよびネットワークマスクと同じ IP クラスにあるようにして下さい。シェルフ IP はゲートウェイ IP アドレスと同じです。

PC のオペレーティング システムの TCP/IP Properties ダイアログボックスを開いて下さい。1 と 254 間の固有の値に PC の IP アドレスの最後の 3 デイジットを変更して下さい ([図を 3](#)) 参照して下さい。15454 のデフォルト IP アドレスを除くようにして下さい (192.1.0.2)。

PC の IP アドレスおよび ONS 15454 がユニークである必要があるが 192.1.0.x の最初の 3 デイジットの同じクラス C サブネットの内にあるようにして下さい。ONS 15454 のデフォルト IP アドレスにそれに PC ポイントのデフォルト ゲートウェイを確認して下さい。ウィンドウ環境の TCP プロパティの例は [図 3](#) あります:

図 3 か。 Microsoft TCP Properties

